

研究活動報告（2004年4月～9月）

- 4月 25日 10:00～ 幹事による打合せ会 於龍谷大学大宮学舎
- 5月 8日 11:00～ 研究打合せ会 於大谷大学
14:00～ 研究集会 於京都大学大学院文学研究科ユーラシア文化研究センター
「耶律鑄夫妻墓誌銘」の検討
※参加者 16名（メンバー外6名）
- 6月 19日 13:00～ 研究打合せ会 於京都大学大学院文学研究科ユーラシア文化研究センター
14:30～ 研究集会 同所
『新中国出土墓誌・陝西2』所収の「段（継栄）君墓誌銘」、「鼎公和尚塔銘」の検討
※参加者 13名（メンバー外6名）
- 7月 24日 14:30～ 研究集会 於京都大学大学院文学研究科ユーラシア文化研究センター
今後の日程等の調整、NEWSLETTER 刊行についての打合せの後、
『新中国出土墓誌・陝西2』所収の「輔昌墓誌」、「故奉議大夫耀州知州馮公（時泰）墓誌銘」、「女冠澄心散人（常守久）墓誌」の検討
※参加者 12名（メンバー外5名）
- 9月 25日 14:00～ 研究集会 於京都大学大学院文学研究科ユーラシア文化研究センター
今年度前半期における海外調査の概要報告
※参加者 10名（メンバー外2名）

編集後記

今回の科学研究費の申請を計画した当初から、NEWSLETTER の発行を考えておりましたので、ほぼ予定どおりに第1号を発行できて、ほっとしております。わずか20頁ほどの雑誌ながら、刊行のご挨拶の中にも書いておりますように、科研メンバーの活動報告だけではなく、同じ時代の史料に関心をもたれている内外の皆さんの交流の場になればと存じています。なんとか年2回の刊行を維持したいのですが、いかがになりますか、ご助言、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。なお、徳永さんの「耶律鑄夫妻碑」の録文は、第1回目の研究会での輪読をふまえてもので、この科研の最初の具体的成果と言えます。また、松田さんの報告の内容は、松田科研時代からの懸案についてのもので、この科研が過去の蓄積の上に成り立っていることを知っていただければさいわいです。最後になりましたが、ご執筆いただいた徳永、松田のお2人、本号の発行にあたって技術面でたいへんお世話になった立命館大学大学院文学研究科の牛根靖裕氏に、お礼申し上げます。(森田 憲司)